

Yell

～絆を深めて Keep Smile～

第132号 令和3年2月5日（金）

小学校に多くの職業人が来てくださいました！～キャリア教育～

ついに実現しました。緊急事態宣言の中、様々な職業の方々が来てくださり、オンライン形式でキャリア教育をすることができました。ご覧の様子は、体育館に集まった職業人（ボランティアで学校に来て自分の職業への思いを熱く語ってくれるボランティア）の方による対面式の様子です。

対面式

一度に20名ほどの方が来てくださるだけでも一大イベント。しかし、さらに今回はオンライン！「どうにか実現して、子どもたちのために財産を作りたい。」

校長先生を始め、担任の先生、キャリア教育の事務局の方の思いは一つ。今年度、不自由な思いをしてきた6年生の子ども達。少しでも思い出を多くもち、卒業してほしい！そんな思いが一つになりました。

オンラインの授業が始まりました。

さて、何もかも初めての取組。簡単にできることではありませんでした。場の設定も、パソコンの設定も、カメラに向かって話すことも、もちろん教室のテレビで聞くことも…なにもかも初めて。ゴールに向かって行くために、校長先生を中心に何度も会議を重ねました。

ブースはどのように設置するのか？全員がzoom（オンライン会議）に参加できるのか、何度も話し合いながら解決方法を模索しました。当日も、不具合が起こるたびに校長先生が駆け付け、調整をしながら問題を解決していきました。職業人の方は、慣れない環境の中でも思いは一つ。「子どもに夢を届けたい！」「仕事の楽しさ、喜びを知ってもらいたい！」ということです。



さて、子ども達は？下の写真はテレビ画面に映し出された様子です。真剣にテレビ画面に目を向け、素早く大切な内容をメモに取る子ども達。中には、今までで一番メモをした、と言っていた子どももいたようです。



新しい時代のあたら新しい取組。この1年間は、まるで合言葉のように「コロナ禍」を乗り越えるための課題が次から次へとやってきました。課題を解決するために、私たちは一段一段階段を上りました。時には大きな山も乗り越えなければなりません。

しかし、今回私たちが学んだことがあります。それは、どんな状況になっても、どのような制約があっても、私たちが子どもの未来のためになることは惜しまずエネルギーを注ぐことが大切だということです。



今、この一瞬にありがとう！

オンラインでも、相手の姿がすべて見えなくても、今回の取組では心と心が通じ合うことができました。新しい時代だからこそできることを考え、私たちは次の世代に心の財産を残していきたいませんか？

